

令和7年度
北辰大学 第9回学習会
☆ 事業報告 ☆

日 時 令和8年1月14日(水) 10:00～

場 所 五所川原市中央公民館 大ホール

参加人数 67人

演 題 「五所川原市の五月女范遺跡について パート2」

講 師 五所川原市教育委員会 社会教育課社会教育係 主査 江戸 邦之 氏

昨年度に引き続き当市市浦地区にある五月女范遺跡についての講演が行われました。

五月女范遺跡は、縄文時代後期中葉～晩期後葉にかけて約 1,000 年間遺跡が継続し、大量の遺物が捨てられた「捨て場」、褐色粘土をマウンド状に盛った「土坑墓」が多数発見されていることや、日本海から季節風によって飛んでくる砂によって、縦列砂丘を形成していることを説明していただきました。また、大変興味深かったのは、捨てられたしじみの貝殻が土壌の酸性を中和したことで、捨て場の近くからきれいな形のままの人骨が発見された、ということです。

受講生の皆さんは、縄文時代の五月女范に今とは全く違う生活の仕方をした人々の営みがあったことに思いを馳せていました。

【学習会の様子】

